

かみ落語
六代桂文枝

TAKE
FREE

We are the
champions!

第六回 社会人落語日本一決定戦

総集編

【TOPICS】 六代桂文枝 大会総括 / 第6回ファイナリストインタビュー

本来、創作はお
ことがなかった
「人間50年」と
ローの織田信長
いう衝動に突き
戦は開口一番。
文枝師匠をはじ
聞いていただけ
わたしの高座を
ていたことも、
高校球児にとっ
全国から集まる
ら、まだ見

あ健
てい
未来
せて



千歳
二松亭 風林火山 殿様
にしよつてい ぶりんかさん
本館専らあり 50名社員
歳大友 美裕



平成26年10月4日(土) 池田市内6会場

予選会

応募総数314通より事前審査を通過し、参加したのは165名。
今年も全国からたくさんのお笑い落語家が池田に集まりました。
6つの予選会場&落語街道では、懐かしい仲間との再会や、新しい出会いなど、
笑顔と歓声があちこちで起っていました。

※本報は2014年10月5日時点での表記です。

第六回

社会人落語日本一決定戦

決勝戦

翌日は、激戦を勝ち抜いた10名による決勝戦！
舞台となったアゼリアホールには、応援のお客様がたくさん！
エンタランスのお祭り広場も大にぎわい。
ファイナリストによるアツい舞台に、笑いが絶えない一団となりました。
平成26年10月5日(日) 池田市民文化会館 アゼリアホール

ファイナリストインタビュー

制限時間10分で予選を勝ち抜くこと。
この10分の間にかに自分をさらけ
出すのがポイントやないかと思いま
す。10分にもいろいろ泣き笑いがある
ようです。今回、予選を終えた時点で、
なにか毎年予選に出ていたときと違う
手ごたえを感じていました。「もしかして、
決勝に残るかも…」という淡い期待が、
出場5年目にして実現しました。決勝の
舞台、「あまり笑いのないネタを、よくこ
こまで笑いを増やしてもって来たねえ。」
と言ってくださった桂きん枝師匠の言葉
が嬉しかった。10年前に大病を患い、「
落語は、もう無理かな」という時を経て、
ここまでできました。前向きな心を捨
てず、来年また決勝へ行けるように頑
張ります。



高座
葡萄亭 わい カラオケ殿
あつてい わいん
歳杉田 直美
57 自営業



出陣
夜花亭 山道 十徳
たはなてい こみち
歳元木 康彦
48 会社員



大陸席
味付亭 甜染 山倉船
あしつけてい こんせめ
歳谷口 公彦
52 フリーランス



大阪府
天神亭 おり鶴 ワニ 三枝也
てんじんてい おりつる
歳竹中 史子
73 折り紙講師



- 喜徳家 哀楽
- 坂々亭 登の助
- 五月家 一平
- 権三川亭 水車
- とん流亭 静六
- 天瀬家 山六
- 池田家 藤彦
- 福々亭 舞歌
- 遊楽亭 かね平
- 錦ノ家 かつか
- 南流亭 若菜
- 五月家 都乃呂
- 朝陽亭 おの
- 紙家 武生
- 響五郎亭 ト
- 徒然亭 若殿
- 天神亭 おり鶴
- 鳩吹亭 山府殿
- 久伊豆亭 駄咲
- 熱海亭 豊安
- 天神亭 志ん喬
- 田舎家 かし
- 康家 夢ひら
- ぼんせ亭 コウマ
- おぼろ亭 かん舟
- 金河亭 とも助
- 新宮亭 当り目
- 天満家 光太郎
- 権三川亭 まる茶
- 安野家 仁栄斎
- 三流亭 緑坊
- 権三川亭 泰成
- 権三川亭 しゅう平
- 池田家 萬葉
- 蘭亭亭 雨辰
- 蘭亭亭 太一
- おぼろ亭 水一
- 川崎亭 好朝
- 五月家 けい都
- 立の家 徳之助
- ほのか亭 はる香
- 花の家 ケイトウ
- 鹿の家 幸三
- 英亭 貞月
- 山梨亭 ころ
- 蘭乃 衣張
- 楽亭 藤茶
- 楽亭 山遊
- 天瀬家 藤彦
- よろず家 英治
- むらつちやん
- 五月家 乃ん竜
- 花の家 どれす
- ばちも亭 公
- おぼろ亭 千路
- 五月家 千路
- 奈し屋 うれ志
- 都の亭 こはる
- 次笑亭 珍歌

落語を稽古することで、職場でも家庭でも陽気な毎日。そんな自分の仕事をテーマにネタを創りました。初めての創作で予選に挑み、憧れのアゼリアホールで落語ができたことが、めちゃくちゃ嬉しかったです。会社の社長の奥様が落語愛好家で、予選を観に来て頂いたのですが、「予選会場では一番良かった。」と評価を頂き、奥様から報告を受けた社長からもファイナリストになれたことを誉めて頂きました。全国の落語好きの社会人の方々が、仕事や家事の合間に一生懸命稽古を重ね、めちゃくちゃ緊張しながら、10分間を全力で演じる。他にない魅力です。いつか名人になることを夢見て、この大会が限り参加させていただきます。



大活躍
浪漫亭 来舞 海老屋
52歳 磯田 裕彦
海老屋

亡くなった旦那と交わした生前の約束「必ず決勝に進む」という夢を果たせました。舞台袖で聴いてくれているようで幸せな高座でした。厳しく愛情あるアドバイスをくださる文枝師匠からの「よかったです」の一言に本当に感激しました。時間制限があるため、落語をカットする作業をしていると、「大切なこと」が見えてくるような気がします。この大会を通じて沢山の落語仲間ができました。みんなに置いてけぼりにならないように上達しようと稽古して、でも次に会ったときに仲間はもっと上手くなっていて。いっぱい刺激をいただいています。もう少しの間、「社会人落語日本一 決定戦ファイナリスト」という言葉の響きに酔わせてください(笑)

去年は創作落語、今年は古典落語で参加させていただきました。古典の良さはそのまま残し、できるだけ自分らしく、できるだけ今に通じる落語にしようと思掛けました。予選では、出番が最後でしたので緊張しっぱなし。いざ本番の時には既に疲れ切っておりまして。その分、決勝ではのびのびと演らせていただきました。決勝の楽屋の廊下で、スタッフの方から「昨日の予選会場の審査員が、あなたの落語を誉めてましたよ。」と教えてもらい勇気がわきました。まるで自分の事のように喜んでくれ、祝福してくれた落語仲間本当に感謝しています。いつまでも、自分らしい落語を演り続けて、まだまだ先だと思いますが、いつか独演会を開いてみたいです。



予選当日は、自分だけウケたいというのもムシがいい話だなと思って、客席で他の出演者の方の応援をしていました。自分の出番では本当に緊張しており、客席の反応が分からずに不安だったので、発表会場で名前を呼ばれた時は本当に嬉しくて雄叫びを上げてしまいました。決勝は、入場の時、会場中あちこちの知人から声援を頂き、「ああこんなに味方がいる。」とすっかり安心。本当に楽しくやれました。大学落研の大先輩である浪漫亭来舞さんと一緒に決勝進出し、来舞さんから「なんか、ドラマみたいやな」と言って下座で泣きました。泣き虫なんです。



大活躍
関大亭 豆蔵 道春
44歳 磯田 裕彦
44歳社員 磯田 行室

- 五戸家 千路
- 楽し屋 うれ志
- 都の亭 こはる
- 火炎亭 玲歌
- 湯快亭 利奈
- 鹿鳴家 七味
- 池田家 ばん彩
- 鹿鳴家 河童
- 黒猪亭 いろは
- 二松亭 牛彦権
- 福々亭 権歌
- 五月家 山竜
- 三言亭 ちとせ
- 七瀬亭 美らく
- 笑人
- 本丸亭 ひと丸
- ぼんぼん亭 ぐり
- 五月家 五角
- 藤家 みる旬
- 大川亭 三神
- 今夕 蕨
- 金野家 世はね
- 幸亭 おすかる
- 好文亭 権朝
- ごんごん亭 ホンキ
- 古柳家 研宏
- 門亭 こびる
- 五月家 安庵
- 微笑亭 さん太
- ごまた伊の輔
- ごんごん亭 まりー
- いつせい
- まのり亭 さのり
- 大川亭 いち福
- 長楽亭 宗園
- まのり亭 うな夢
- 遊々亭 遊遊風
- 浪漫亭 唐舞
- まのり亭 まゆり
- 五月家 すずり
- 楽亭亭 とん助
- せなち亭 浩徳
- 四丁亭 日か志
- 笑い乃 蓮光
- 椿名川亭 道孝
- 五月家 湯治郎
- つる家 白眉
- 二下亭 三鹿
- まのり亭 誠加
- 葡萄亭 わいん
- 天神亭 美華
- お好味亭 奈華
- 湯快亭 ゆ乃月
- 井の亭 ぼんご
- 東家 静香
- 椿名川亭 貼の助
- 二松亭 風林火山

名代
名人

インタビュー



大阪府

たつや さのすけ
たの家 猿之助 ほねつき蔵

44歳 永廣 正則
柔道整復師

プロの方の物真似ではいけない、との言葉を励みに、今年は創作落語に挑戦しました。とはいえ人生で初めての創作落語、自分だけのものとなるとお手本はありませんし全くのゼロからのスタートです。

原案を練り始めたのは1年前から。世界観は古典のまま、自分の仕事を活かしたものと取り組みました。まるでうけない所から始まり、考えて考えて……、徐々にうけるようになって、予選会はそのお披露目の場だという気持ちで挑みました。

優勝は勿論ですが、決勝戦の総評で第一人者の文枝師匠から、「この囁、自分で作ったんですか？すごいね」と言ってくれたのがなにより嬉しかったです。1年間をかけて取り組んで、正直、万策尽き果てた時期もありました。ただ作ることの苦勞もさることながら喜びや新鮮な驚きもありました。

ある意味、アマチュアは落語を楽しむためにやっているわけですから、この大会に出逢わなければそれ以上のものはありません。新たな情熱をもって落語に取り組むことができるようになったのはこの大会のおかげでもあります。

大会後、新聞やラジオで取り上げていただき、患者さんを始めたたくさんの方に喜んでいただきました。地元では「せいこついん寄席」と言う落語会を主催していますが、凱旋公演はなんと予約だけで礼止め！

全国から一斉にこれだけ多くの社会人落語家が集まるイベントは他にありませんし、競い合うだけではない奥行の深さ、世界観の広さが最大の魅力だと改めて感じています。

都道府県別

北海道 4名	東京都 15名	滋賀県 2名	香川県 1名
青森県 1名	神奈川県 9名	京都府 7名	愛媛県 1名
宮城県 1名	新潟県 1名	大阪府 43名	高知県 1名
山形県 3名	富山県 4名	兵庫県 19名	福岡県 4名
福島県 1名	岐阜県 1名	奈良県 3名	長崎県 1名
茨城県 1名	福井県 3名	和歌山県 1名	熊本県 1名
栃木県 3名	長野県 1名	岡山県 1名	大分県 1名
埼玉県 8名	愛知県 6名	広島県 4名	沖縄県 2名
千葉県 9名	三重県 1名	山口県 1名	

年代別

20代 11名	60代 26名
30代 23名	70代 17名
40代 37名	その他 1名
50代 50名	

男性 109名 / 女性 56名
合計 165名

10月4日(土) 予選会

予選6会場
いけだ落語街道
計4812名

10月5日(日) 決勝戦・大落語会

決勝戦
特別興行 文枝・鶴瓶二人会
計5770名

合計 10582名

特別興行 いけだ大落語会

笑福亭 鉄瓶「阿彌陀池」
桂 三 弥「くもんもん式学習塾」
(作:桂三枝)
桂 文 枝「友よ」(作:桂文枝)
文枝・鶴瓶「対談」
桂 三 步「私がババよ」
(作:桂三枝)
笑福亭 鶴瓶「錦木検校」

《予選審査員》笑福亭 呂鶴 / 桂 枝女太 / 笑福亭 仁嬌 / 桂 九雀 / 桂 枝三郎 / 桂 春雨 / 市民審査員六名
《決勝戦審査員》大会統括 六代 桂 文枝 / 桂 きん枝 / 難波 利三 / 林 千代
《凱旋高座》銀杏亭 魚折 《大会実行委員長》小南 修身 池田市長

大会
データ

来年も、池田でお会いしましょう！

落語みゅーじあむ イベントスケジュール

師走 12月

【休館日】2日(火)/9日(火)/16日(火)/24日(水)

12月6日(土) 9時30分～12時30分

アマチュア落語講座(中級・上級)

12月13日(土) 9時30分～12時30分

アマチュア落語講座(中級・上級)

12月13日(土) 14時～

第94回落語みゅーじあむ寄席

桂 米輝 「ご祝儀」

桂 壱之輔 「いけめんコンビニ」

林家 染二 「お楽しみ」

【本戸銭】前売1000円 当日1500円

※前売券発売中(電話予約可 ☎072-753-4440)

12月20日(土) 9時30分～12時30分

アマチュア落語講座(初級・中級・上級)

睦月 1月

【休館日】6日(火)/13日(火)/20日(火)/27日(火)

1月10日(土) 9時30分～12時30分

アマチュア落語講座(中級・上級)

1月10日(土) 14時～

第95回落語みゅーじあむ寄席

桂 小梅 「ご祝儀」

笑福亭 喬若 「おたのしみ」

桂 米平 「けんげしか茶屋」

【本戸銭】前売1000円 当日1500円

※前売券発売中(電話予約可 ☎072-753-4440)

1月17日(土) 9時30分～12時30分

アマチュア落語講座(初級・中級・上級)

1月24日(土) 9時30分～12時30分

アマチュア落語講座(中級・上級)

1月31日(土) 14時～

第18回落語みゅーじあむ

@ほーむ寄席

【年末年始・休館日のお知らせ】

下記期間休館日とさせていただきます。

2014年12月29日(月)～

2015年1月3日(土)



第5回 社会人落語

総括 六代 桂文枝

皆さんそれぞれに個性豊かで 本本当に良い高座でした

社会人落語がこうして盛り上がってきたのも皆様のおかげでございます。まずは池田市民の皆様には厚く御礼申し上げます。そして、決勝の舞台に駒を進めた皆様、おめでとうございます。

今回の決勝戦は、特に飛びぬけた方がおらず、それだけ社会人落語のレベルが上がった証拠だと思います。特に上位三名は本当に僅差でした。優勝された猿之助さんは、囃しの展開がうまく、サゲもよく効いていた。本本当に仕事ちゃんとやってんのかいな、と思うくらいネタはしっかり練られていて発想的にも秀逸でした。

創作の「創」というのは「倉を切る」ということですから、倉にあるものを切り出す作業でもあります。猿之助さんがやられたように、古典にあるカタチを自分なりに作り変えて、今の人も分かるように伝えることが創作の醍醐味だと思いますし、凄く良かった。

逆に新作落語には賞味期限があるんです。そこを時代々々で流行っている歌を取り込むとか、古くならないように工夫をしなければなりません。

そんな新作で挑まれ、見事二位に入賞された舞歌さんも非常におもしろかった。もう少し声を大きく、しっかり喋っていたらより楽しい「動物園」になったのではないのでしょうか。三位の世はねさんの「真田小僧」も、お父さんと子供とのやりとりが非常におかしく、ほんのりとした親子の情愛というのは、やはり方言の方が出るんやなあと気づかされました。皆さんそれぞれに個性豊かで本本当に良い高座でした。

敢えてひとつ言えば、どうしても口調が、プロの口調、上手口調になってしまっているところが少し気になりました。皆様には普段の仕事や生活を通して自分なりの口調を見つけていただければ、より社会人らしい落語に近づくのではないのでしょうか。

落語という芸能は若い世代はもちろん、より多くの方に興味を抱いてもらわなければ、100年先、200年先に残らない訳ですから、アマチュアの方にも大いに手助けしていただきたいし、本本当にありがたいことだと思います。

来年、再来年と、もっともっと盛り上げていきたいと思っておりますので、皆様の変わらぬご協力をお願い申し上げます。



【主催】池田市/社会人落語日本一決定戦実行委員会

【協賛】 NISSIN 日清食品 池田ライオンズクラブ 特別後援 公設社団法人 上方落語協会

〒563-0058 大阪府池田市栄本町 7-3
 電話：072-753-4440 FAX:072-753-4447
 開館時間：11時～19時
 休館日：火曜日、年末年始※火曜日の場合、翌日休館
 入館料：無料(落語会などは本戸銭が必要です)
 ※専用駐車場はございません。

最寄駅：阪急電車宝塚線「池田駅」下車
 (阪急梅田駅から急行で約20分)
 改札を出て栄町方面へ徒歩約7分

【協力】 公設社団法人 上方落語協会

